

事業報告書

団体名: オフィス・プロジェクト

1. メニュー名	(1) スタート事業 該当するメニューを○で囲んでください (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	外国につながる子ども・保護者の学習支援事業
3. 実施場所	馬路文化センター・法華寺 (2017年9月まで以後は、愛善苑会館へ移転)・ ゲストハウス藤原邸・ガレリア
4. 実施期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
5. 目的と課題	支援金申請書に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて記入してください。

目的

1. ひまわり教室の子ども達の学習言語を伸ばし、成績に結びつく方法を、学校や教育委員会、保護者と共に追求し、地域全体の子どものための多文化共生への視野を深める。
2. 外国につながる子ども・外国人保護者も含めて学ぶ喜びを体験し、自己肯定観を高める。
3. 合同イベントを開催し、子ども同士、保護者同士の交流を深め、社会全体の多文化共生についての学習と理解を深める。

課題：外国につながる子ども（両親が外国籍・父母のどちらかが外国籍・日本人と結婚した母親が以前の母国での結婚で生まれた子どもの呼び寄せ等）は毎年増加している。2014年度文科省報告（2015年4月発表）では、公立の小中高等学校に在籍する外国人児童生徒数は全国で73,289名で、このうち日本語指導が必要な児童生徒数は29,198名となっている。また、これには含まれない日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数は7,897名としている。亀岡市では、2014年度は日本語指導が必要な児童生徒数は統計上はゼロとなっていた。2015年度・2016年度は、亀岡市にも、日本国籍を持たない、あるいは国籍は持つが日本語指導のない外国で育った子ども等の転入があり、母語支援員や日本語での教科指導員などの措置の必要な学校が増加し、学校での学習支援の必要性は目に見える形であった。ひまわり教室を2014年4月から開催してきた児嶋は2015年度・2016年度と続けて亀岡市小学校校長会・中学校校長会で説明する機会を得たが、今後も学校との協働は大きな課題である。また、3年間ひまわり教室を開催（2016年度から2教室）し、子どもへの個別指導の必要性とともに、外国人保護者の日本語力や日本文化への理解を深めると共に、自尊心と自信を持つ必要性を知り、保護者への個別対応を同時に開催している。また、指導者の指導力を上げるため、外国につながる子どもの指導講座を年に2回開催し、受講者の実践報告会も行ってきた。2016年度は京都府国際センター・亀岡国際交流協会との共催が実現し、全国に広報することにより、各地から受講者が集まり意見交換ができた。このように、実践と研究と実践者同士の交流が各地で課題となっていることが伺え、更なる実践の継続と研修が課題となってきている。

6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)
<p>1. ひまわり教室の開催 (馬路教室・法華寺教室から愛善苑会館へ移転：2017年9月) 月に3回開催し、主に子どもの学習言語力の支援のため、宿題等の点検と指導をする。同時に外国人保護者の日本語指導やカウンセリングを実施する。 (馬路教室：火曜日 6:00~7:30) (法華寺教室・愛善苑会館：木曜日 5:00~6:30)</p> <p>2. 合同イベントの開催 2017年度は、他の子どもグループとの共催で子どもグローバルセッション(ゲストハウス藤原邸)やクリスマス会を開催した。また、2教室合同で、馬路文化センターで、夏休み工作教室・夏休み宿題教室を開催し、ひまわり教室児童以外の参加者とも交流を深めた。また、外国人保護者の自信と誇りを持ってもらうため、中国人の母親とメキシコ人の母親が、それぞれの母語でかみしばいや絵本の読み聞かせを日本語話者の翻訳文の読み聞かせを加えて馬路文化センターで行った。(中学3年の参加児童の高校合格祝い会) また、子どもグローバルセッションでは、メキシコ人母親と他市に住むメキシコ人の母親を持つ男子が即興でズンバを披露した。</p> <p>3. 指導者研修会の開催 (外国につながりを持つ子どもの学びを支える研修会と実践報告会の開催) 2017年度は京都府国際センターとの共催で講師・発表者の謝礼金の提供を得た。また、亀岡国際交流協会との共催で、ガレリアの実施場所の提供を得た。この事業はこの収支報告書には含まれない。また、「やさしい日本語」で読み書きすれば、外国人保護者が学校からの配布用紙などの理解も可能になるために、講師を呼び、講座を開催した。</p>	
7. 成果と課題	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>2014年度から始めたひまわり教室は、2016年度に2教室になり、9月には、法華寺から愛善苑会館に移転し、駐車スペースなどの問題や参加児童の自宅により近い場所での開催が可能になった。</p> <p>学校との連携の必要性はさらに高まり、小学1年に入学する児童の受け入れの方法について、幼稚園副園長と小学校の教員との懇談会を持ち、入学以前から、学校での準備が可能になった。(つつじが丘小) 小/中学校の校長会でのひまわり教室の説明の機会を得て、在籍する児童の担任のひまわり教室への参観の機会も得た。(詳徳中) また、保護者である父母へのインタビューを重ね、子どもに関わる課題や希望について、日本人の父親、外国出身の母親それぞれから聞き取りをし、その内容をボランティア指導者内に随時、報告をしている。</p> <p>2教室に別れて開校しているので、それぞれの指導者、保護者、子どもたちの理解を深めるため、馬路文化センターを会場に、子どもグローバルセッション・夏休み宿題講座・工作講座・クリスマス会等を合同で開催した。この時には、まだ参加していなかった外国にルーツを持つ子どもや保護者も寄り合い、さまざまな情報を交換することができた。</p> <p>ボランティア指導者の数は、少しずつ増加してきていて、認識が深まってきている。これらの指導者の疑問や対策方法を探るため、「外国につながる子どもの学習支援講座」2回開講した。2016年度につき、2017年度も京都府国際センターの共同主催・亀岡国際交流協会との共催が実現し、京都府センターの広報により、各地からの参加者があり、広く意見の交換ができた。また、参加者による実践発表会も</p>	

京都府国際センターと亀岡国際交流協会との共催により、実践者同士での交流が可能になった。さらなる実践の継続と研修の方法が課題である。

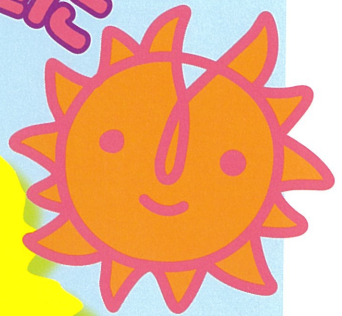
8. 今後の展開 事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。

1. 指導者講座と実践報告会の開催については、京都府国際センターと共同主催・亀岡国際交流協会との共催を予定している。
2. 外国につながる子どもと保護者の学習支援教室の開催は、子どもの参加費で開催地の使用料でほぼまかなわれている。しかし、子どもや保護者の自信ややる気をおこさせるための誕生会や夏休みの宿題や工作講座・子どもグローバルセッションなどの開催も必要である。2018年度はキリン福祉財団の支援金が支給されるとの告知を得ている。
3. 亀岡市や隣接する南丹市在住の外国につながる子どもとその保護者は確実に増加している。しかし、関係する保護者中には、学校外でのひまわり教室のような場所での支援の必要性を自覚していない人も多く、学年が上がり、子どもの教科内容が保護者の理解力を越えると子どもが保護者を避け、「わからない」という実態を告げない場合が多くなる。それ以前に必要性を理解する機会をどう作るかが2018年度の課題である。その方法として、以下にあげて見る。
 - a. 校長会で外国につながる児童の保護者に配布を要請する。(ひまわり教室のちらし・バイリンガルの育て方：京都府国際センター)
 - b. ひまわり教室に在籍する児童生徒の保護者や日本での子育てをしてきた外国人保護者に、母語で感想を書いてもらい、発表や冊子印刷の機会を作る。(スペイン語・中国語・英語・フィリピン語・インドネシア語等)
4. 外国につながる子どもとその周辺子どもたちとに相互理解を深めるイベントを開催する。2017年度は子どもグローバルセッションに外国につながる子どもや保護者の友人が参加し、自分達とのちがう課題や同じ点などを理解する機会を持った。今後も音楽やアートで言語のちがいを越え、また、親の母語を学ぶ意欲を持つようなイベントを計画する。

9. 協働の効果 今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。
※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。

1. 京都府国際センター・亀岡国際交流協会との共催事業を持ち、資金面と内容についての協議の機会を多く持て、今後も相互に学習していく。
2. ボランティアとは言え、指導者の力の向上や、数は常に保持していくために、講座の開催やネットワークを探っていく。そのためには、ひまわり教室のレポートなどで、指導者、子どもたちの所属する学校などへの現状を知らせ、課題を共有していく。

来ませんか？ひまわり教室に



1回
300円

※10まいのシールを先に
買ってもらい、参加した
あとで、1まいずつ切り
取ります。

がいこく
外国につながるおとうさんや

とも
おかあさんのいるお友だちが

たくさん来ています。

べんきょうをいっしょにやりましょう。

がっこう
しゅくだいも学校のべんきょうも

なんでもいいのです。

かようび
火曜日のゆうがた

じ
6時から7時半まで

なんたんこうこう
南丹高校のちかくの

うまし ぶんか
馬路文化センターで

まっています。

つき かい
(月に3回あります)

もくよう
木曜日のゆうがた

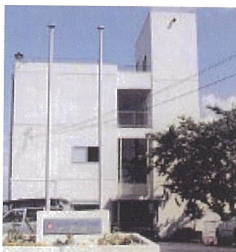
じ
5時から6時半まで

なかやだ
中矢田のあいぜんで

まっています。

つき かい
(月に3回あります)

馬路文化センター 住所 亀岡市馬路町小米田 45-4
TEL 0771-23-2005



中矢田あいぜん 住所 亀岡市中矢田町岸ノ上
TEL 0771-24-7064



ご連絡先、お問い合わせ

オフィス コン ジュント (こじま きよみ)
TEL : 0771-23-6579
E-mail : kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp

外国につながりをもつ子どもの学びを支える 研修会



最先端の研究から、外国につながりをもつ子どもへの学習支援の方法を学びます。

参加費
無料

第1回

11/18

(土)

11:30~16:30

「学習言語能力の発達と親子で学ぶ方法論」

会場 ガレリアかめおか2階 研修室 (定員 30名)

講師

滑川恵理子 さん (大阪大学、立命館大学非常勤講師)

内容

外国につながりをもつ子どもの学習言語能力の発達を促すためのアプローチの一つとして、保護者のもつ言語・文化資源を活かした学習方法を取り上げる。

↑昼食は、各自ご用意ください。↓

第2回

12/17

(日)

11:30~16:30

「JSL 対話型アセスメント DLA」 ～「書く」を中心に～

会場 ガレリアかめおか3階 かめおか市民活動推進センター

(定員 20名)

講師

櫻井千穂 さん (同志社大学日本語・日本文化教育センター准教授)

内容

小・中学校で、子どもが授業に参加するために必要な「学習言語能力」の発達状況を、対話を通して探る評価法 DLA (Dialogic Language Assessment) について学ぶ。

対象

外国につながりをもつ子どもの学習支援をしている方、関心のある方
教員、学校関係者、学習支援教室の指導者、日本語ボランティアなど

申し込み

Office Com Junto (オフィス コン ジュント) 担当: 児嶋

TEL : 0771-23-6579

Email : kodomo@kpic.or.jp

- ①名前 ②TEL ③Email アドレス ④参加希望日 ⑤所属団体又は居住市町村名
- ⑥子どもの支援経験 (内容、年数) をお知らせください。

会場: ガレリアかめおか
(亀岡市余部町宝久保 1-1)



主催: Office Com Junto (オフィス コン ジュント)

(公財) 京都府国際センター (TEL: 075-342-5000 Email: main@kpic.or.jp)

共催: 亀岡国際交流協会

後援: (申請中) 京都府教育委員会 亀岡市教育委員会

この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の助成事業により実施しています。

外国につながりをもつ子どもの学びを支える

！ 研 修 会 ！



2018 年 2 月 10 日 土 11:30-16:30

会 場 : ガレリアかめおか 2 階 研修室

実践者による事例報告会

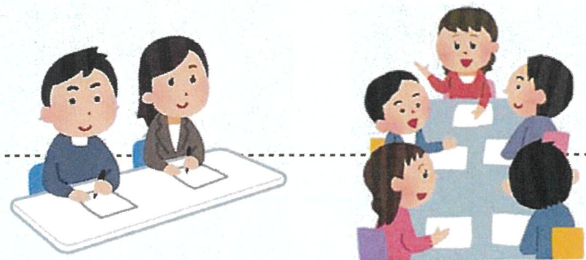
内容

地域の学習支援教室や日本語教室で、外国につながりをもつ子どもへの教科や日本語の学習支援を行う実践者の方の発表を元に、参加者で意見交換を行い、各々の実践を深めます。

亀岡市や宇治市で活動する 4 名の方に発表していただきます。

講評：滑川恵理子さん（大阪大学、立命館大学非常勤講師）

昼食  は、各自ご用意ください。



対 象

外国につながりをもつ子どもの学習支援をしている方、関心のある方
教員、学校関係者、学習支援教室の指導者、日本語ボランティアなど

参加費

無料 (定員 20 名)

申し込み

Office Com Junto (オフィス コン ジュント)

担当：児嶋

TEL : 0771-23-6579

Email : kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp


①名前 ②TEL ③Email アドレス ④所属団体又は居住市町村名
⑤子どもの支援経験 (内容、年数) をお知らせください。

会場：ガレリアかめおか
(亀岡市余部町宝久保 1-1)



主催 Office Com Junto (オフィス コン ジュント)

(公財) 京都府国際センター (TEL : 075-342-5000 Email : main@kpic.or.jp)

共催  亀岡国際交流協会

この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の
助成事業により実施しています。